

### 発 行 浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081 笠岡市笠岡2065 電話(0865)62-2623 FAX (0865) 62-2595 振替0126.0-9-13760 http://joshinji.suki-ari.net/



# **広島別院**

研修旅行

六月

四日

7月14日(木) 13:30より

法宝物

呉市·西岸寺

長 岡 正 座 信 師

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

のです。 その間に雨が多く降ります。それで国土が潤う 雨は生物に大切です。日本には四季があり、梅雨のうっとうしい季節がきました。でも、 うるお g

徳に 衆生を潤すがゆえに」 to |を潤すがゆえに」というおたとえがあり、「大雨のごとし、甘露の法を雨ふらして、大無量寿経』にお浄土に還られたお方の 0 に水がつくとい う言葉には、「濡らす」 て、 ま お

お方は、 普湿 法を聴聞させていただくことこそ今を生きる者 真実の法を雨降らしてくださるのです。その しあわせになれないのです。 気づかず、 ることを表わします。 や水分を必要としているものに、 ていたものに湿気を含ます、 人は本来、 す めでありましょう。 濡らすは表面に水をつける、 その私を放っておくことができず 潤 求めることをし 真実の法が必要なのですがそれ す」といろいろありますが 浄土に誕生され ません。 潤すは本来、 それを得させ 湿すは乾い だから、 14

# み法を味わって」

# 宗祖降誕会法要 つとまる

りました。 祖降誕会(ごうたんえ)法要が勤ま 鸞聖人のご誕生をお祝いする、 五月十四日午後 一時半より、 宗 親

た。極楽の迦陵頻伽のようなやさらんさま」の四曲が披露されまし とめ。 ま」、「娘たちよ」、「念仏」、「しん 電子ピアノ伴奏のもと、「のんのさ 好会「コール清風(しょうふう)」 部開催されました。 による仏教讃歌。 まず一 部は浄心寺女声コーラス同 続いて恒例の奉賛行事が二 同で和訳の正信偈をおつ 平田澄子先生の

生喬師匠の飲み食いの芸が光り、 子を描いた話でした。 う夜船の、船着き場や船中での様 うネタでした。「三十石」は、 うとするもうまくいかない、 やりとりを友人に対して再現しよ 夫婦のしゃれたやりとりに感心す いを振舞われ、 石 から大坂まで向かう三十石船とい 居から「柳蔭」という酒や鯉の洗 の家で仕事を終えた植木屋が、 いきょう) 一席目では師匠の朗々とした舟唄 席目は「青菜」、二席目は 家に帰った植木屋は先ほどの 休憩を挟んで二席あり、 さんにお越しいただき 青菜をめぐる隠居 一席目では ある隠居

一部は上方落語。 法座となりました。 に一同ききほれました。 当日はさわやかによく晴れ、



応神山に登ったより

い歌声が堂内に響き渡りました。

五名の参加がありました。 れました。 教青年部会(奥村彰見部会長)主催 で、「応神山に登ろう!」が開催さ 四月二十三日(土)に備中里組仏 小学生を中心に、

驚きながら、 当を食べました。 はにょきにょき伸びたタケノコに 一登山口に入りました。 浄心寺で開会式の後、 山頂まで登り、 その後、 子供たち 笠神社か 絵師方 お弁

> 解説によって笠岡の歴史への造詣 れました。また、長安圭一さんの 迫力ある閻魔像などに一同圧倒さ 内部を拝観させていただきました。 面に下り、富岡の吉祥院で閻魔堂 \* \* \* \* \* \*

け取って解散しました。 少々疲れましたが、 小雨が降り始める中、 さわやかな汗を流 午前中は天

気にも恵まれ、

みは浄心寺までお問い合わせくだ

さい。締め切りは七月十四日。

した楽しい一日となりました。

夏の降誕会にふさわしい華やかな

## 花まつり



みんなあつまれ サマース のお話を聞いたりゲームをしたり 参加いただけます。詳細や申し込 します。門信徒以外のお子さんも 小学生対象に一泊二日で、仏さま 七月二十一日(木)二十二日(金) ケール

を深めました。



### 專 如ご門主 備

144 回

門主が備後教区ご巡回ならび 後教堂ご巡拝に来られました。 備後教堂は福山市にある、 月二十五日、 第二十五代専 備後 に備 如

年の平和の集いで好評だった朗読主とともに讃仏偈をお勤めし、昨 紙でバラの花を作りまし 劇の再演を鑑賞、 当寺からは住職が参加 また一同で 折り 門

車され駅へと向かわれました。 ご門主からはご消息の拝読があ 最後には当日のご感想も述べ にこやかにハイヤーにご乗

お言葉に 頼もしい いお姿と の若々し 同はさ ご門主

れ

ました。

前日より

会主催によるダー

ナバザー

が、

浄

几

月二十

四日

**目** 

に仏教婦人

-ナバザー

開催



付けや会場 方々には値

調理

婦会員の

をしていた などの準備

# 囙 展のごあんな しり

本名を明導といいます。 浄心寺第十 津 田 白 印  $\widehat{1}$ 兀 86 世 2 \ \ 1 明 海の 9 次男で 4 6

仏教学と漢学を学ぶかたわら長崎 ました。 派の画家・ 福岡県豊前市にあった乗桂校で

露育児園を創設し、 明 治三十三年に孤児収容施 0

0

だきますが、

そちらにお越しにな

わたしたちもよく利用させていた 教区を統括する本山の窓口であり、

成富椿屋に南画を学び 鬼収容施設・

など社会福祉や女子教育の分野で 活躍しました。 一年に私立淳和女学校を創立する

生して七十年になります。 しく呼ばれ、 愛蔵しています。 周囲の人から 書画は多くの 「白印さん」と 今年は白印が往 市民が 親

期◎平成28年7月9日(土) ~9月4日(日)

場◎笠岡市立竹喬美術館

~ 講演会「白印が求めた理想郷」

8月14日(日) 13:30~15:00

(市内在住65歳以上は無料)

(新規紹介作品20点を含みます)

講師:上薗四郎館長

入館料◎一般 800円

展示作品数 ◎ 約80点

うご案内申し上げます。 下記の展覧会が開催されます。 どうか、 その遺業を後世に伝え残すた 笠岡市立竹喬美術館の主催で ご清覧いただきますよ

ちらしずしや赤飯、 とバナナパウンドケー いのほか、 しました。 主 亀まんじゅうを作り、 桝平洋子先生指導のも ぶんずぜんざ 丰、

甘夏ケ

販売

さまには厚く御礼申し上げます。 終了しました。売上金は寄付と仏 婦の活動費にあてられます。 順調な売れ行きに、 商品を提供していただいたみな お昼前には





### 0 0 婦

0

0

0

0

0

0

0

0

例会開

かれました。 る仏事作法のお話を聴きました。 通常の協議の後に、 三月六日に礼拝堂にて例会が 前住職によ 開

# 仏婦総会開催

中四国仏教婦人大会が開 仏教婦人会加盟のみ

開催されました。 されました。 **催されました。例年通り、決算六月十九日に礼拝堂にて総会が** 行事報告、 行事予定が審議

# 中四国仏婦大会のご案内

山にて、 寺からは十名程度参加予定です。 なさんが全国より集まります。 催されます。 八月二十四日にコンベックス岡

### 平成28年度

## 門信徒会総会

笑福亭三篙 師匠

◎ 花まつり

阿弥陀堂建設中のため休止 ◎ 総 会 5月16日(土) 10時30分 ◎降誕会

13:30 女声コーラス同好会 コール清風

6月 6日(土) 三原市、光徳寺参拝と万田発酵見学

7月17日(金)福山市 光行寺 苅屋光影師

8月15日(土) 10時、14時 住職、副住職

13時30分 福山市 善正寺 那須英信師

仏教讃歌と上方落語

◎ 研修旅行

◎ 法物虫ぼし法座

◎ サマースクール ◎ 盂蘭盆会

◎ 秋季彼岸会·永代経 9月26日(土) 井原市 光栄寺 佐藤知水師 12月 5日(土) 11時

◎ 地区委員会 ◎ 報恩講

◎ 除夜会、修正会

◎ 新春の集い

◎ 春季彼岸会

☆ 継職法要 あさのおつとめ

平成28年1月18日(月) 継職法要のため不修 平成28年3月27日(日)

通年毎朝6時

◇やさしい仏教入門 毎回19:30 講師:津田明雅副住職 親鸞さまのおしえ 324/6(月)、336/8(金)、348/22(土)、

③10/6(火)、③12/3(木)、⑤2/9(火)

◇念仏のつどい 毎月15日 13:30より(但∪1月、8月はお休み) 「浄心寺だより|発刊 111号(5月)、112号(7月)、113号(11月)、114号(3月) 仏教婦人会 5/17初参式、6/21総会、3/8例会、研修旅行、料理教室、福祉施設慰問、

文化等同好会 每月第1水曜 19:30 指導:平田澄子先生 姉コーラスコール清風 毎月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生 本山関係 7月 全国真宗青年のつどい、9月 千鳥ヶ淵全戦没

者追悼法要など各種研修会、記念法要など

備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30) 10/30(金)総代研修会、10/7(水)平和のつどい(福山リーデンローズ)など

備中里組 同朋研修協議会、第6期連続研修会(偶数月第2木)、4/26キッズ サンガ 「高島を歩こう 161名参加、9/1(火)~2(水)本願寺念仏奉仕団

会

◎ 総

◎ 降 誕 会

◎ 研修旅行 ◎ 法物虫ぼし法座

◎ サマースクール

◎ 盂蘭盆会

◎ 地区委員会

◎ 報恩講

12月31日(木)、元旦

清掃奉仕、各種研修会など、世界仏婦大会:カナダにて、2名参加

4月29日(金) 8 時頃より

5月14日(土) 11時 13:30 女声コーラス同好会 コール清風

仏教讃歌と上方落語 笑福亭生喬 師匠

6月 4日(土) 広島別院参拝と大和ミュージアム、 適工房せせらぎ(千福)見学 7月14日(木) 呉市 西岸寺 長岡正信師

7月21日(木)~22日(金)教区内スタッフ3、4名

8月15日(月) 10時、14時 住職、前住職 ◎ 秋季彼岸会·永代経 9月21日(水) 世羅町 圓超寺 法正映真師

12月 3日(土) 11時

13時30分 三原市大和町 浄楽寺 栗原一乗師 ◎ 除夜会、修正会 12月31日(土)、元旦

◎ 新春の集い 平成29年1月中旬予定 ◎ 春季彼岸会·永代経 平成29年3月 講師未定

◎ 伝灯奉告法要参拝 平成29年3月31日(金)報恩寺、蓮乗寺、慈恩寺と合同 あさのおつとめ 通年毎朝6時

◇やさしい仏教入門 毎回19:30 解説:津田明雅 住職 384/12(火)、396/14(火)、498/16(火)、

④10/6(木)、@12/8(木)、④2/未定

◇念仏のつどい 毎月15日 13:30より(但∪1月、8月はお休み) [浄心寺だより]発刊 115号(5月)、116号(7月)、117号(11月)、118号(3月) 仏教婦人会 4/24ダーナバザー、5/15初参式、6/19総会、7/1福祉施設慰問、料理教

室(2回)、研修旅行、例会(3月)、清掃奉仕(念仏の集い)、教区各種研修会など 文化等同好会 每月第1水曜 19:30 指導:平田澄子先生 姉コーラスコール清風 毎月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生 本山関係 伝灯奉告法要、7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥 ヶ淵全戦没者追悼法要など各種研修会、記念法要など

備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)、5/25(水)ご門主教区 で巡回並びに教堂で巡拝、総代研修会、平和のつどいなど

備中里組 同朋研修協議会、第6期連続研修会(偶数月第2木) 4/23 青年部会主催「応神山に登ろう! | 35名

### 平成27年度 収支決算書

5,541,141円 収入の部

門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマー スクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、 冥加金、預金利子、繰越金

支出の部 5.541.141円

行事費(法座、荘厳費、サマースクール、研修旅行、 新春の集い、仏教講座、役員会、総会)、 賦課金、 通信費、手数料、消耗品費、印刷製本費、 光熱水費、修繕費、当期剰余金

この決算については、平成28年4月19日、監査藤井 浩一郎氏、高橋保文氏により監査を受け、正確かつ 妥当なことが認められ、5月14日、門信徒会総会に おいて承認されました。

### 

収入の部 5,791,660円

門信徒会会費、行事参加費(新春のつどい、 サマースクール、研修旅行)、教化助成金、 法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金 (ほかに門信徒会基金 10.500.000円)

支出の部 5,791,660円

行事費(法座、サマースクール、研修旅行、 新春のつどい、仏教講座、役員会、総会)、 賦課金、通信費、火災保険料、手数料、 消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、 研修費、予備費

# 門 徒 広 場

研

修旅行に参加し

7



# 伝灯 奉告法要に お参りしま よう

拝が予想されます。 ろん各国からも大勢の門信 成二十九年に修行されます。 灯奉告法要が平成二十八年及び平 たって勤められ、 法要は全十期八十日八十座にわ 願寺第二十五代専如門主の伝 全国各地はもち 提の多

拝する予定です。 てご案内いたします。 浄心寺は明年三月三十 お い日程などは後日 今回 本願寺での 改 日 法 8 K ま

堂に入ると「見真」の額に迎えら 中心地にありながら静かで洗練さ 中心道場となる、 院とは少々ちがっていました。 れた空間、今まで参拝した寺院別 信心が浸透していると聞く方々の の参拝からです。 の一生』の絵も素晴らしい。 行が六月四 まず宗門の中でも「 見事な内陣の誂え、外陣の『釈 雨空の 発しました。 Ę 日々の生活の 日に、二 今年も浄心寺研修 本願寺広島別院 広島旧市街の 「安芸門 十八名の参 中に真宗 藤 加子 徒

ろを」と、十日後には仮寺務所が、 た納骨塔、 破壊飛散した石材を集めて修復し 復工事が行われ、 平成六年に現在の本堂に大規模修 の時ここは…思うだけで怖 投下により全てを焼失し なお元気に育つソテツ、 たと話され、 安芸門徒会館も続きに完成しまし 爆心地より一 昭和二十年八月六日の原子爆弾の いただきました。 ることのできる歴史がありながら、 ムが川の向こうに見える場所、 一十九年には現在の本堂が完成、 年後には仮本堂が作られ、 それでも その横には被曝した竜 「門徒の心のよりどこ 境内には被曝しても ・二キロ、 平成二十三年に 室町時代まで溯 被曝して てしまう。 原爆ドー 昭和 あ

形 かなければ気付かぬ無言の語り部 の親鸞聖人の石像。 案内いただ

だきありがとうございました。

多数お参りください。 はせず、 どうか、 事参拝のみで、 日帰りい お誘い合わされまして その たします。 ほかの 観 光

行

0

別院の方から説明をし

## 還 浄 (げんじょう)

高武井戸 田口川 トモ子 寛 均範 6 6 16141 86759382 樋 福 浅 横 山 口 浜 守 市 市 市 横

新任の方、

役員 の交代 (敬称略)

事務局庶務 前 新 石井利 渡辺 忠 博

地区委員

番町西

前 新 高田 花生智子

前) 田村隆昭

里庄GC

前任の方ありがとうございました。 よろしくお願いします 細谷憲雄 泉

## 平成28年度 門信徒会会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。 納入につきましては、地区委員さんを通し てか、地区委員のおられない地区の方はご 参拝の折、あるいは同封の郵便振替(手数 料無料)でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、 れ以上の御懇志の方には金額を限定してお りません。 (会 計)

釈尊の たちも、 せん。 聴くことの大切さをいただいて、 を改めて知らされ、 が多くの人によって作られたこと の持つ技術や今私が享受する平 くの展示品に圧倒されながら日本 ばそのままに、 たい」と作られた酒工房せせらぎ 次の呉へと向かいました。 て日々を過ごされているのですね。 八和ミュージアムの見学です。 呉ではおいしい昼食をいただき、 ここでホッと一息、 ろいろな気付きやご縁をい て帰路につきまし の幸せをお客様と分かち合 そんなこんなで次の たおやかな力強さをもつ 怠りなく努めよ」のこと 安芸門徒のみなさまは、 あの日を忘れるこ 言葉もありま お土産も たく 和 た

\*\*\*\*

んに行なわれました。

### 浄心寺の 法宝物 その73

### 震蔵』

平屋、土蔵造り



の紹介です。 それらを収蔵している経蔵 介してきましたが、 これまで所蔵の 書 今回は 画 を

ます。

白壁の建物が目に入ります。 山門を入るとすぐ左手に

仏教のあゆみ その後 教えと

あ

ゆ

4

0

大きっそうじゅん

2

9

蓮如上人像 時代になって 教は次の室町 生まれた新仏 鎌倉時代に

真慧上人、浄土宗では武蔵(東京都)は本願寺の蓮如上人や、 高田派の も引き続き盛 浄土真宗で 高田派の た。 と呼ぶ独特の庭園がつくられまし 広まってゆきました。なお禅のも つ生活文化は新しい芸術を生みだ 力によって、 水墨画や茶道が発達し、

\*\*\* さらに江戸時代になると、 徳川

親、こうしたひとびとの手者よろ宗では鐺冠上人として知られた日帝の地に活動した瑩山紹瑾、日蓮陸の地に活動した 新仏教は民衆の間に いた夢窓疎石や大宗では天竜寺を開 ラ 
書聖問、臨済 四発展に尽くし 心に 川紹瑾、日蓮河宗では北 西 石庭 派 にもせよ、 確立され、

明治の初め、 仏教は廃仏毀釈の

蔵 (回. 中にも美しい空間を醸し出してい には花鳥が描かれており、 建・普成) れました。 伝えられています。 蔵経を読むのに便利なようにと輪 は寛延二年 石で囲まれた基壇の上に建つ経蔵 内部正 傅大士は中国南北朝の僧で大 転式の書庫) 面には傅大士と二子 の像が安置されていま (一七四九) また、 を工夫したと に建てら 薄暗い 格天井

す。

の鉄眼が寛文九年~天保元年(1 経』は京都・宇治の黄檗山 ここに収められています 1万福寺 「大蔵

> きません。 とした良寛など、一時的であった 織が整備され、 高僧の出たことも忘れることがで 化につとめた白隠禅師や、一切経 でもありません。 をねがう幕府の方針もあって、 りましたが、その反面、 幕府の政策にもとづく檀家制 て、各宗派では宗学がさかんにな 車がかけられたのです。 開版で有名な鉄眼、 維持が尊ばれ、 仏教の普及に一層の拍 清新の風を吹き込んだ 学問が奨励され しかし禅の大衆 停滞の感がない 名利に超然 教団 太平無事 の組 現

\*\*\* その内、 あり、 残っています。 進をし大願を果たしたとの記録が で、近隣の庄屋さん商家などに勧 669~81)に開版したもので、 蔵されています。 請銀四貫八拾三匁七分五厘」と 当時としては莫大な金額 当寺には2970巻が収 古文書によると

なる響きを暢ぶ)」が出典です。 声 声 で、『無量寿経』往覲偈にある「梵 猶雷震、 **靁震蔵《の額は、明治時代** なお、正面に掲げられてい 、は雷の震うがごとく、八音は妙 島地黙雷師の命名になるもの 八音暢妙響 明治時代の学 (仏さまの 、ます

> 方法が取り入れられ、 努力が熱心に続けられています に応えるべき仏教の使命が真剣に ました。 や運営の上にも近代化が進められ い自覚と奮起とを促すことになり 眠をむさぼっていた僧侶に、 仏教に対する冷遇は、 難にあい **論究され、輝かしい未来をひらく** 仏教研究において新し 戦後は新しい現代の課題 ましたが、 教団の組織 治新 かえって惰 政 府 11

# 盂 蘭盆会

八月十五日(月) 十時と十四 ご都合のよい方に お参り下さい、 時

# 秋 季彼岸会 ならびに

門信徒総追悼

永代経法要

講師 世羅町圓超寺 法正映真 九月二十一日(水) 十三時半より 師

# 条後記

6号をお届けします。 告法要、 ご案内をする浄心寺だより第11 度門信徒総会の諸報告や、 寺広島別院への参拝・呉大和ミュ (落語 ジアム研修旅行、 爆心地に隣接し菩提樹匂う本 コール清風)、 盂蘭盆会、 秋季彼岸会の 平成28年 宗祖降誕会 (編集委員) 伝灯奉

◎浄心寺ホームページ http://joshinji.suki-ari.net/